

平成25年度秋冬作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財)日本植物調節剤研究協会

平成25年度秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成26年7月10日(木)にホテルラングウッドにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者20名、委託関係者18名ほか、計48名の参集を得て、除草剤9薬剤(16点)、

生育調節剤2薬剤(7点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成25年度秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

注)アンダーラインは新たに判定された部分を示す

A. 野菜関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種・類 新・羅 の 別	試験担当場所 (>は試験中など (数))	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
1. ANK-553(改) 乳 ベンデ'イタリン:30.0% [BASFジャパン]	トマト	適用性 新規	植調研 和歌山 福岡	(3) ねらい 散布水量150L/10aへの拡大 対象 雑草 一年生(科)全般 一年生(葉)全般(科科を除く) 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 - 設計 薬量 全面土壌処理 定植後、雑草発生前 <水量> 300mL <150L> 500mL <150L> 300mL <100L> /10a 対) 慣行		実・雑	実) [秋冬作、露地;一年生雑草 (科科、科科を除く)] ・定植前(マルチ前) 雑草発生前 ・雑草発生前 ・全面土壌処理 ・300~500mL<70~150L>/10a [株まき移植秋冬作、露地; 一年生雑草(科科を除く)] ・定植後、雑草発生前 ・全面土壌処理 ・400300~500mL<70~150L>/10a 雑) - 薬量と体系処理について - 散布水量150L/10aでの年次変動 の確認
2. HPW-105 乳 トリプロアリン:33% IPC:11% [*保土谷UPL ダク・ケル・日本]	トマト	適用性 新規	植調研 兵庫 淡路 佐賀 白石	(3) ねらい 定植後、雑草発生前での効果・葉害の確認 対象 雑草 一年生(科)全般 一年生(葉)全般 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 - 設計 薬量 土壌処理 定植後、雑草発生前 <水量> 300mL <100L>, 400mL <100L> /10a 対) トレファンサイト'乳剤 定植後雑草発生前 200mL <100L>		雑	雑) ・効果、葉害の確認
3. NP-55 乳 セトキシム:20% [日本曹達]	トマト	適用性 継続	植調研 佐賀 白石	(2) ねらい 科雑草6~8葉期への拡大 対象 雑草 一年生(科)全般(ス'ノカビ'ラを除く) 一年生(葉) - 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 - 設計 薬量 茎葉処理 <水量> 生育期、雑草生育期(一年生(科雑草)6-8葉期 200mL <100L>, 200mL <150L> /10a 対) ボトプロア'ル 生育期、雑草生育期(一年生(科雑草)6-8葉期 300mL <100L>		実・雑 実	実) [秋冬作、露地;一年生(科雑草(ス ス'ノカビ'ラを除く)] ・生育期、科雑草3~5葉期 ・全面茎葉処理 ・150~200mL<100~150L>/10a [秋冬作、露地;一年生(科雑草 (ス'ノカビ'ラを除く)] ・生育期、科雑草6~8葉期 ・全面茎葉処理 ・200mL<100~150L>/10a 雑) ・科雑草6~8葉期での効果、葉害 の確認

A. 野菜関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種・類 新・継 の別	試験担当場所 ＜は試験中など (仮)	ねらい、試験設計等	備考	判定	判定内容
4. トリアリン粒 トリアリン:2.5% 【タウケイ日本】	タネ	適用性 継統	和歌山 福岡 (2)	ねらい 対象 雑草 雑草 定植前処理(無(わ)での効果・被害の確認 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般(ワコサ、オウツグサ、キク、アブ ナ科を除く) 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 (水量) /10a 全面土壌処理 定植前、雑草発生前 4000g、5000g 対) トリアリン粒剤2.5 定植後、雑草発生前 5000g		実・継 実	[秋冬作、露地：一年生雑草(ワコサ 科、オウツグサ科、キク科、アブナ科を 除く)] ・ 定植前、雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 4～5kg/10a [秋冬作、露地：一年生雑草(ワコサ 科、オウツグサ科、キク科、アブナ科を 除く)] ・ 定植後、雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 4～5kg/10a
		適用性 継統	愛知 佐賀 白石 (2)	ねらい 対象 雑草 雑草 定植前処理(わ)での効果・被害の確認 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般(ワコサ、オウツグサ、キク、アブ ナ科を除く) 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 (水量) /10a 全面土壌処理 定植前(わ)前)、雑草発生前 4000g、5000g 対) コーコーン細粒剤F 定植前(わ)前)、雑草発生前 5000g			[秋冬作、露地：一年生雑草(ワコサ 科、オウツグサ科、キク科、アブナ科を除 く)] ・ 生育期(春期)、雑草発生前 ・ 畦間土壌処理 ・ 4～5kg/10a
		微量薬害 新規	愛知 (1)	ねらい 対象 雑草 雑草 定植前処理(わ)での安全性の確認 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般(ワコサ、オウツグサ、キク、アブ ナ科を除く) 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 (水量) /10a 全面土壌処理 定植前(わ)前)、雑草発生前 5000g、10000g			継 ・ 定植前処理での効果・被害の確認

B. 平成25年度 春夏作分 野菜関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種・類 新・継 の別	試験担当場所 ＜は試験中など (仮)	ねらい、試験設計等	備考	判定	判定内容
1. NC-622 液 グリホサートカリウム塩:48% 【日産化学工業】	タネ	適用性 継統	<J北海道> (1)	ねらい 対象 雑草 雑草 収穫後のスギナ防除 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 スギナ 設計 薬量 (水量) /10a 茎葉処理(全面茎葉処理) 雑草 収穫後、 スギナ生育期(草丈30cm以下) 1500ml <25L> 1500ml <100L> 2000ml <25L>		-	・ 前回の判定どおり(実・継)
2. NK-1101 水和 S-トリフルロ-:24.8% プロピリン:26.6% 【日本化薬】	ニンジン	適用性 継統	富崎 如園 (1)	ねらい 対象 雑草 雑草 播種後出芽前 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 (水量) /10a 全面土壌処理 播種後出芽前(雑草発生前) 150g <100L> 対) コーラル水和剤 播種後出芽前(雑草発生前) 200g <100L>		-	・ 前回の判定どおり(実・継)

C. 平成25年度 春夏作分 花き関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種・類 新・種 の別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
1. NH-007 フロアブ・ル グ・リホート(ゾフ・ロビ・ルミ ン塩:30.0% ビ・ラフ・フェンエチル:0.16%) [日本農業]	キウ	適用性 新規	沖繩	(1) ねらい 耕起前、雑草生育期 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 全面茎葉散布 耕起前(雑草生育期) 400ml <100L>, 600ml <100L> 対) ラクト・アツブ マックスロード 耕起前 慣行 <慣行>		-	・前回の判定どおり(継)
	キウ	倍量薬害 新規	沖繩	(1) ねらい 倍量薬害(耕起直前) 対象 雑草 一年生/科 - 一年生広葉 - 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 全面茎葉散布 耕起直前(耕起当日または前日) 600ml <100L>, 1200ml <100L> (倍量区)			
2. MBH-096E 乳 ベ・ラコノン酸2.5% [丸和ベ・イワカ]	ツツジ・ サツキ	適用性 新規	<東日本G研> <J福岡>	(2) ねらい 樹冠下における一年生雑草、 多年生雑草に対する適用性の検討 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 全般 多年生広葉 全般 その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 樹冠下雑草茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 100ml/m ² <希釈せずそのまま散布> 150ml/m ² <希釈せずそのまま散布> 対) 草退治シャワー 雑草生育期(草丈30cm以下) 20ml/m ² <希釈せずそのまま散布>		-	<試験中>
	ツツジ・ サツキ	倍量薬害 新規	<東日本G研>	(1) ねらい ツツジ・サツキに対して倍量量での影響を確認 対象 雑草 一年生/科 - 一年生広葉 - 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 樹冠下雑草茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 150ml/m ² <希釈せずそのまま散布> 300ml/m ² <希釈せずそのまま散布>			
3. MBH-098E 乳 ベ・ラコノン酸30% [丸和ベ・イワカ]	ツツジ・ サツキ	適用性 新規	<東日本G研> <J福岡>	(2) ねらい 樹冠下における一年生雑草、 多年生雑草に対する適用性の検討 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 全般 多年生広葉 全般 その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 樹冠下雑草茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 6.7L <100L>, 6.7L <150L> 10L <100L> 対) 草退治シャワー 20ml <希釈せずそのまま散布>		-	<試験中>
	ツツジ・ サツキ	倍量薬害 新規	<東日本G研>	(1) ねらい ツツジ・サツキに対して倍量量での影響を確認 対象 雑草 一年生/科 - 一年生広葉 - 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 樹冠下雑草茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 10L <100L> 20L <100L> (倍量区)			

D. 平成25年度 春夏作分 花き関係生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 〈は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
1. NPK-063 水和 76%アミノール:50% [日本農薬]	カイスカイ ブキ	適用性 新規	福岡県樹苗木 南九州大 (2)	ねらい 新梢伸長抑制による剪定軽減 設計 葉量 〈水量 L〉 /10a 対) クロフトール粒 全面土壌混和 萌芽2週間前または新梢伸長開始2週間前 10~20kg		実・継 突) [ヘニカナモ;新梢伸長抑制による 剪定軽減] ・萌芽2週間前または新梢伸長開始 2週間前 ・土壌処理 ・800~2000g<100~300L>/10a 継) ・カイスカイブキ、ヒバでの効果、葉害の 確認	
	ヒバ	適用性 新規	千葉大 園芸 〈中間〉 福岡県樹苗木 (2)	ねらい 新梢伸長抑制による剪定軽減 設計 葉量 〈水量 L〉 /10a 対) クロフトール粒剤 全面土壌混和 萌芽2週間前または新梢伸長開始2週間前 10~20kg			
	ヘニカナ モ	適用性 継続	千葉大 園芸 福岡県樹苗木 南九州大 (3)	ねらい 新梢伸長抑制による剪定軽減 設計 葉量 〈水量 L〉 /10a 対) クロフトール粒 全面土壌混和 萌芽2週間前または新梢伸長開始2週間前 10~20kg			
2. シベリン 液 シベリン:0.5% [岩手県農業研究センター]	リンドウ	適用性 継続 (自主)	〈岩手〉 〈山形〉 (2)	ねらい 株の生育促進 設計 葉量 〈水量 L〉 /10a 対) 無処理	調査項目:越冬芽の形成数 および直径、欠株数、葉害の 有無 試験の手順:①開花株に薬 液を株元散布し、次年度の 芽(越冬芽)を強制的に抽た いさせる。②若い茎葉によ り秋期まで株の草勢を維持 する。③生育終了時に株の 状態を調査する。④翌年の 生育、品質を調査する。	-	前回の判定どおり(継)